



学都松本に住み国宝を学ぶ

## 松本城と世界遺産講座



笹賀公民館は12月15日と22日、「松本城と世界遺産講座」を開催し13人が参加しました。15日に同館で座学を、22日に松本城で講師の学芸員の説明を聞きながら現地視察を実施しました。

笹賀の世帯数・人口	
世帯数	4,814 世帯
人口	10,677 人
男	5,400 人
女	5,277 人
(令和8.1.1 現在)	

### — 松本市の象徴として —

松本市の郊外、笹賀地区に住む私たちにとって、市街地ではなくても松本城は象徴として心に息づいています。そんな松本城を、観光だけでなく学びとして捉える機会を得て、参加者はそれぞれの思いを胸に急な階段を登りました。松本市に長く居住する人も新しく移住してきた人も、歴史の狭間の中で430年を経過して今に姿を写す松本城の佇まいを脳裏に刻みました。

### — 松本城の歴史 —

松本城の歴史は戦国時代に遡り、当初は周辺に山城が10数



カ所に築かれ、平地にも井川城や深志城という城があったものの、天守のような建物は造られていなかったといわれています。その後、小笠原貞慶が深志城

を手に入れて改修し松本城に改めたと伝えられています。時代の流れで小笠原氏が関東に移された後に石川氏により、天守門、櫓、塀が建てられ城郭としての形が整ったといわれています。

松本城の建築年代は確定されていないのですが、松本市は平成5年(1993)松本城400年祭りを開催した際、1593年、石川数正・康長父子により築城されたと定義付けています。

### — 天守を守った市民の力 —

明治維新になり、城を守る武士の時代が終わると城郭は不要となり、各地で取り壊しが始まりました。松本城を壊さないで残したのは松本の人々の力でした。松本城入り口の黒門脇のレリーフに、市川量造と小林有也の貢献者二人が顕彰されています。民権家、啓蒙家という市川量造は西洋の文化を紹介する博覧会を開き松本城を会場にすることに成功し天守は残りま

した。旧制中学(深志高校の前身)の校長であった小林有也は二の丸にあった校舎の校庭拡張が決まったことから、天守の修理を呼びかけて天守閣保存会を結成し10年にわたる工事を完成させたといわれています。

### — 世界遺産登録を目指し —

「国宝松本城を世界遺産に」と、平成13年度に推進実行委員会が、松本古城会、商工団体等57団体により設立されました。松本城を中心としたまちづくりを合い言葉に「近世城郭の天守群」と銘打ち、松本城、犬山城、松江城、姫路城、彦根城の国宝5城による「連続性のある資産」として世界文化遺産登録に向けて活動が続いています。自然災害や戦災にも遭わず人々の努力もあって現在に至っていますが、世界文化遺産への登録は、世界に向けて松本城を守り続けていくことの宣言になり、人類の宝として存在価値が高まると主張しています。



### さんぽみち

小学生の頃、クラスで「花係」をした。花壇の世話や、教室に花を飾ったりするのが主な役目だが、楽しかったのが、学級新聞に「花言葉」を紹介すること▼その頃、花の子ルンルンというアニメがあり、毎回最後に花言葉を教えてくれるのが大好きだったので真似していたのだ▼同じ花でも資料により花言葉が違うことがあり、良くない意味があることも。また色によっても違う場合があり、紫陽花などは本当にたくさんある。なるべく、素敵な言葉を採用していた▼誕生日により誕生花というものもある。やはり資料によって違いがあるので、中でも一番気に入ったものを覚えてみると嬉しいものだ。自分の誕生花は桜ということにしていて、▼大病を患った後に奇跡的に回復した知り合いがおり、誕生花の花言葉が『困難に勝つ』というもので、驚いたことでもある▼スカイパークにも、近所のお宅の庭にも、色々な花が咲いている。スマホで花の名前を検索し、この花の花言葉は何か?家族や友人の誕生花は何か?と調べてみるのも楽しいものだ。



新春の1月3日に長野朝日放送で、第25回ふるさとCM大賞の最終審査会が放送されました。これは2001年度から始まり、今年で25回目になります。今年は42市町村から84作品の応募があり、この最終審査会に20作品が進出しました。笹賀公民館で活動している「デジタル笹賀」は城下町の湧水をテーマにCM動画を作成し、応募しました。大賞にノミネートされ、結果は敢闘賞。映像作品として定以上の実力と評価されたことになります。

## ふるさとCM大賞NAGANO デジタル笹賀が挑戦!



第25回  
ふるさとCM大賞  
abnホームページ



松本の城下町湧水群は、県外の皆さんにも注目されていて、貴重な観光資源となつていきます。CMの詳細はこちらのQRコードから見ることが出来ます。また、デジタル笹賀は毎月第1、第3水曜日の午前にデジタル相談会を開いています。スマホやパソコンで困ったことがあったら、お気軽にご相談ください。

もっと使ってみませんか?

## 便利な図書館利用講座

図書館を、もっと便利に利用するための講座が、11月27日と12月4日に行われました。(同じ内容を2回)

松本市には中央図書館の他に分館が10館あり、蔵書数は合わせておよそ130万冊に及びます。収蔵資料は図書だけでなく、新聞・雑誌、CDやDVDなどのメディア、点字図書など、また郷土資料も含まれます。新刊図書は毎週500冊以上が購入されています。これらの本を借りるに当たり、収蔵されている本の検索、貸出の予約、自分の取りに行ける館への取り寄せ、図書館に無い本のリクエストなどが可能です。

より便利な活用方法として、LINEを使ってスマホから、利用者カードの表示、延長の申請、本の検索・予約ができ、さらに図書館からの連絡を受け取ることができます。

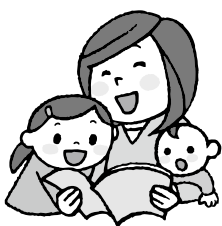
早速私も体験してみました。久しく図書館を利用していなかったの、まず会場で利用者カードを再発行してもらいました。そして松本市図書



館ホームページからパスワードを登録。LINEで公式アカウントを友だち追加して、利用者番号とパスワードを入力して連携すれば使えます。一時は幻の書とも言われ前から気になっていた「町内会」という本を検索してみると、ありました!そこからそのまま予約もできます。また、メニューの中に電子図書館というものがあります。これは市町村と県による協働電子図書館で、電子書籍(コンテンツ)となつていてものを借りることが出来ます。

ます。これらにより、今までのように図書館にお出かけするということに加え、自宅でお茶を飲みながら本を借り、そのまま読むということも可能になりました。

図書館は、公民館、博物館などと並ぶ、住民自治と社会教育の拠点の一つです。ここに松本市民の誰もが使える知識の宝庫があるということを再認識し、それらがびつくりするほど簡単に活用できるといふことがわかる講座でした。



松本市図書館  
公式LINEQR



市町村と県による  
協働電子図書館  
デジ図書信州  
ホームページQR

